

令和7年度施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策 【分野】	都市基盤が整った快適で暮らしやすいまちづくり 【都市基盤分野】	施策	29_景観	所管部長 取りまとめ所属	都市部長 都市政策課		
施策の内容	地域の個性と魅力を生かしたまちづくりを実現するため、建築物や公共施設などの適切な景観誘導を図るとともに、市民参加・協働による景観まちづくりを推進します。						
めざす姿	大山の眺望や緑豊かな美しい風景などの伊勢原らしさを生かした良好な景観の形成により、誰もが住み続けたいと思える愛着のあるまちとなっています。						
重点事業							
施策構成事業	景観まちづくり推進事業費						
評価							
進捗評価	順調	評価の 判断理由	令和5年度末に改定した景観計画に基づく景観協議、景観まちづくりを推進しました。 伊勢原駅北口地区再開発に関わる地区計画の策定に当たっては、景観計画の示す方向性を盛り込んだ「建築物等の形態又は色彩その他意匠の制限」などを位置づけました。				
施策推進上の課題・ 環境変化	景観計画に基づく良好な景観形成のため、まちづくりを推進する必要があります。特に、景観誘導に当たって基準となる「景観形成基準」については、これまでの景観協議の実績や社会情勢の変化等を踏まえた制度の実効性向上を図る見直しを行ったことから、この新たな景観形成基準の一層の周知浸透を図る必要があります。						
評価の経過	令和5年度 順調	令和6年度 順調	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	景観条例、計画に基づく制度運用により引き続き良好な景観形成に資する景観誘導を着実に進めていきます。 景観写真展や地域景観資源登録制度等の普及啓発事業により良好な景観の形成に関する市民の意識醸成を図り、市民の本市に対する愛着を深めていきます。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
景観協議の件数	351件 (R3)	397件	477件				651件
建築物の建築や公共施設の整備 等の景観協議を行った件数							
地域景観資源登録数	22件 (R3)	28件	28件				43件
地域景観資源の登録数							
伊勢原らしい景観が保全されて いると思う市民の割合	38.8% (R4)	43.2%	45.1%				↗
市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合							
重点事業の取組内容							
事業名	—						
事業内容	—						
取組工程	項 目	令和6年度					
		計画			実績		
	—	—			—		
令和6年度 取組内容	—						
重点事業以外の取組内容							
令和6年度 主な取組内容	●建築物の建築や公共施設の整備等の景観誘導を行うとともに、景観計画の改定を受けて、景観ガイドライン(公共施設編)を改定しました。 ●普及啓発事業については、景観写真展の開催や横浜銀行シティプロモーションコーナーにおける市内の良好な景観形成事例の紹介等を実施しました。						